**SONY**®

3-810-979-**02** (1)

# トリニトロン® カラーテレビ

## 取扱説明書

**お買い上げいただきありがとうございます。**

**⚠警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

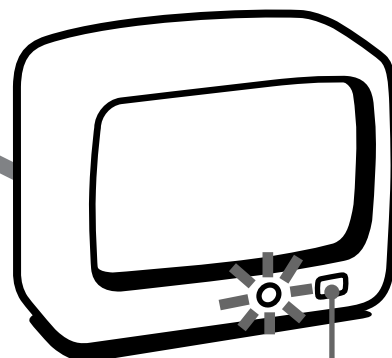
## 目次



***KV-28W10***

# テレビ、衛星放送を見る

## 1 赤いスタンバイ／スリープランプまたは電源ランプがついているか確認する。

ついていないときは本体の電源スイッチを押します。

## 2 チャンネルを選ぶ。

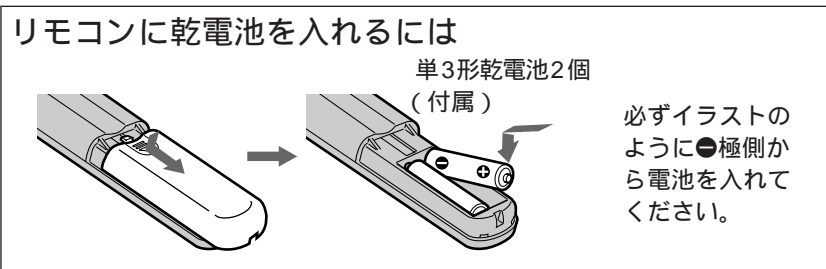
ボタンを押すと、自動的にテレビがつきます。
衛星放送（BS）を見るには、数字ボタン⑬〜⑮を押します。

チャンネル＋／－ボタンを押すと、①〜⑮の放送が順に映ります。
衛星放送（BS）は、BSボタンを使って見ることもできます。

例

## 3 音量を調整する。

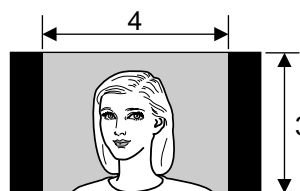
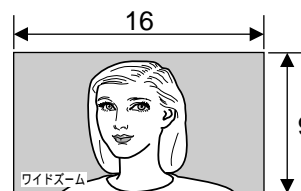
スタンバイ／スリープランプがついているときは、緑色表示のボタンを押すと自動的にテレビがつきます。（チャンネルポン）
有料の衛星放送（WOWOWなど）を見るときは、「有料の衛星放送を見る」をご覧ください（☞9ページ）。

音を一時的に消す。
チャンネル表示などを出す。
入力を切り換える。
テレビを消す。
画面表示
入力切換
BS
チャンネル
音量
リモコンに乾電池を入れるには
単3形乾電池2個
（付属）
必ずイラストの
ように⊖極側か
ら電池を入れて
ください。

# ワイド画面を楽しむ（オートワイド）

**お買い上げ時の設定では**
オートワイドが「入」になっているのでワイドクリアビジョン放送識別信号、S-1方式（S1映像入力のとき）、ID-1方式（S1映像／映像入力のとき）の3つの方式を自動的に判別してワイド画面にします。

**ワイドクリアビジョン放送を受信すると**
オートワイドが「入」になっているときは自動的にズーム画面に切り換わります。

お買い上げ時の設定では、何もしなくてもテレビが自動的に画面を検知し、ワイドズーム、ズーム、字幕入のうち最適なワイド画面に切り換えます。

## ワイドズーム

**通常のテレビ放送**

**4:3の映像を16:9に拡大し、はみ出た部分を圧縮して画面の上下におさめます。**

## ズーム

**黒帯付きの映画**
**（字幕は映像の中）**

**横長の映像をそのまま拡大します。**

**ワイドクリアビジョン放送**

**横長の映像をそのまま16:9ぴったりに拡大します。**

## 字幕入

**黒帯付きの映画**
**（字幕は映像の外）**

**横長の映像をそのまま拡大し、字幕の部分を圧縮して画面の中におさめます。**

操作編

**手動でワイド画面を楽しんだ後オートワイドに戻るには**
オートワイドが「入」のとき、ワイドズーム、ズーム／字幕入、ノーマル／フルボタンを押すとオートワイドが「切」表示になり次にチャンネル切換、入力切換、電源切／入をするまでそのモードに固定されます。
チャンネル切換などをすることにより再びオートワイドが「入」になります。

**画面モードを固定しておくには**
1 メニューボタンを押す。
2 選択＋／－ボタンを押して「画面モード」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／－ボタンを押して「オートワイド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／－ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
5 メニューボタンを押す。
この場合には、チャンネル切換、入力切換、電源切／入をしても画面モードは固定されたままになります。

**ワイド画面に関して**
・ このワイド画面テレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差がでます。この点にご留意の上、画面モードをお選びください。
・ このワイド画面テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
・ ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用してワイド画面テレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。製作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。

## 手動でワイド画面に切り換えるには

ワイドズーム、ズーム／字幕入ボタンを押して、それぞれの画面に切り換えることもできます。

### ●ワイドズーム

ワイドズームボタンを押します。

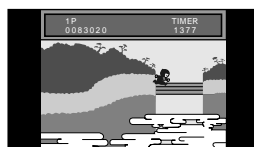
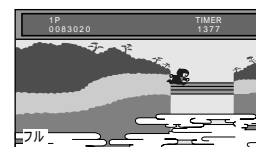
### ●ズーム・字幕入

ズーム／字幕入ボタンを押します。ボタンを押すごとにズームと字幕入が入れ換わります。

## 速攻ワイドで楽しむには

見ている画面を、すばやく最適なワイド画面に切り変えるには**速攻ワイドボタン**を押します。押してからすぐに画面が切り換わります。

## 4:3（通常のテレビ画面）または迫力のある画面を楽しむときは

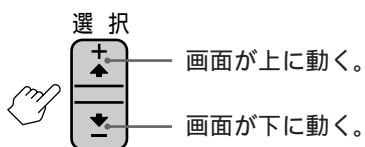
ノーマル／フルボタンを押すごとにノーマルとフルが切り換わります。フルにするとテレビゲームやハイビジョン放送などを迫力のある画面で楽しめます。

ノーマル（4:3の画面）

フル（左右に引き伸ばされた16:9の画面）

# ワイド画面を使いこなす

## 画面位置を上下に調整するには

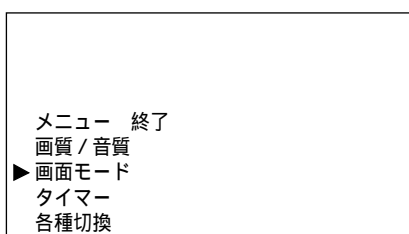
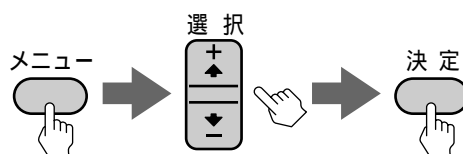
以下のようなときは、画面を上下に動かしてください。
●**ワイドズーム画面で**画面の上または下が欠けるとき。
●**ズーム画面で**画面を見やすい位置にしたいとき。
●**字幕入画面にしても**字幕が画面に入りきらないとき。
ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

**1** **画面位置ボタンを押す。**

**2** **選択＋／－ボタンを押して画面の位置を調整する。**

**3** **画面位置ボタンを押す。**

## 映像を縦方向に伸ばしたり縮めたりするには

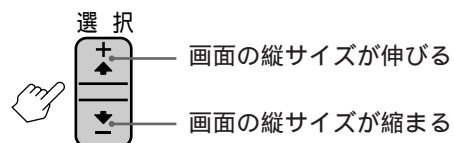
この操作は、**ワイドズーム、ズーム、字幕入画面**のときに行います。ワイドズーム、ズーム、字幕入のそれぞれの画面について設定できます。

### 1 メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「画面モード」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

### 2 「縦サイズ」を選び、決定ボタンを押す。

▶を「ノーマル」より下に移動させると、「画面モード」の次画面が現れ、「縦サイズ」が出てきます。

### 3 選択＋／－ボタンを押して調整する。

### 4 メニューボタンを押してメニューを消す。

操作編

# ビデオなどを見る

## 1 入力切換ボタンを押してビデオ機器がつないである入力を選ぶ。

押すたびに、ビデオ1→ビデオ2→ビデオ3→テレビと切り換わります。

ビデオ1

## 2 ビデオ機器の再生ボタンを押す。

詳しくはビデオ機器の取扱説明書をご覧ください。

### テレビ画面に戻るには

チャンネル数字またはチャンネル＋／－、または入力切換ボタンを押して、テレビに切り換えます。

# 有料の衛星放送を見る

操作編

有料の衛星放送を見るには、BSデコーダーの接続が必要です。

**1** **BSデコーダーの電源を入れる。**

**2** **チャンネルボタンを押し、放送を選ぶ。**

**WOWOWを見るには**

または

### 独立音声を聞くには

1996年1月現在、独立音声放送はBS5チャンネル（St.GIGA）でのみ放送されています。（St.GIGAは、WOWOWとは別に受信契約が必要です。）

1. メニューボタンを押して、メニューを出す。
2. 選択＋／－ボタンを押して▶を「各種切換」の位置に動かし、決定ボタンを押す。
3. 選択＋／－ボタンを押して「TV／独立音声選択」を選び、「独立」にして決定ボタンを押す。
   スクランブルがかかっているときは、デコーダー側で独立音声に切り換えます。
4. メニューボタンを押して、メニューを消す。

**ハイビジョン放送を見るには**
別売りのMUSE-NTSCコンバーターが必要です。1996年1月現在、BS9チャンネルでは実用化試験局による放送が行われています。

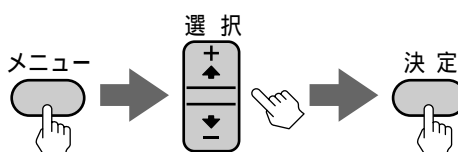
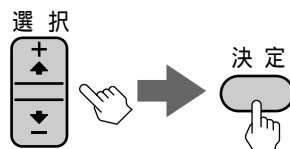
**ご注意**
BSデコーダーを接続して有料の衛星放送を見ているとき、音声モードは表示されません。音声モードの切り換えは、デコーダー側で行ってください。
また、このとき受信チャンネルは水色で表示されます。

# 画質／音質を調整する

**ご注意**
「スタンダード」、「シアター」、「ダイナミック」の画質／音質は調整できません。

部屋の明るさや番組に合わせて、4種類の画質／音質が選べます。

## 部屋の明るさに合わせて画質を選ぶ

### 1 メニューボタンでメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「画質／音質」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

### 2 選択＋／－ボタンを押して▶をお好きなモードの位置に動かし、決定ボタンを押す。

### 3 メニューボタンを押してメニューを消す。

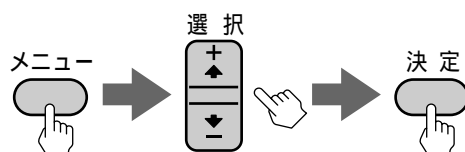
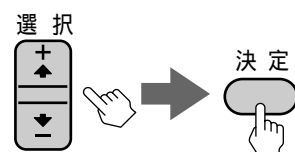
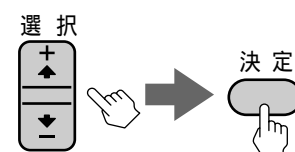
| | |
|---|---|
| **スタンダード** | ふつうの明るさの部屋で、くっきりした映像を見たいとき |
| **シアター** | 部屋を暗くして、きめ細かな映像と臨場感ある音声で映画などを楽しむとき |
| **ダイナミック** | 明るい部屋で、明暗のはっきりしたメリハリのある映像を見たいとき |
| **AVメモリー** | ご自分で設定した画質／音質で楽しみたいとき（設定のしかたは次頁参照） |

### 通常、ご家庭でご覧になるときは

AVメモリーの「画質調整」、「音質調整」を「標準」にしておくことをおすすめします。

## お好みの画質に調整する（AVメモリー）

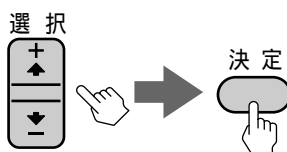
画質をお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。メニューで「AVメモリー」を選ぶと、記憶させた画質で見ることができます。

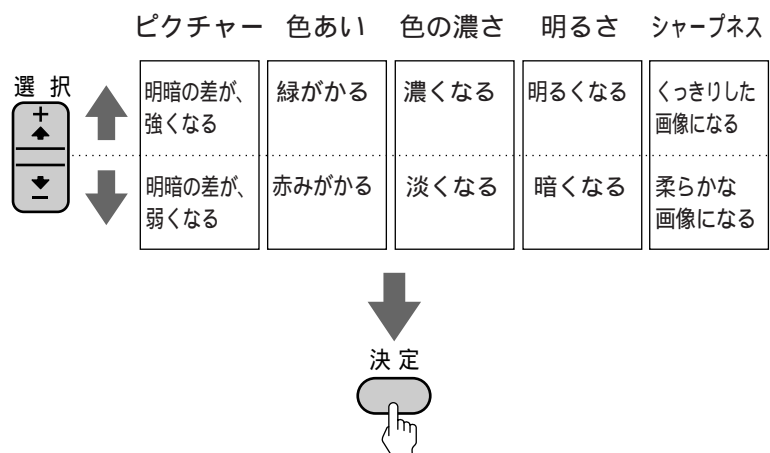
### 1 メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して▶を「画質／音質」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

### 2 選択＋／－ボタンを押して▶を「AVメモリー」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

### 3 選択＋／－ボタンを押して▶を「画質調整」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

画質調整 AVメモリー
戻る
▶ ピクチャー
色あい
色の濃さ
明るさ
シャープネス
標準

**AVメモリーは数種類設定できます**
AVメモリーは、テレビ、BS、ビデオ入力1、2、3それぞれについて画質／音質を設定することができます。

つづく

# 画質／音質を調整する（つづき）

## 4 選択＋／－ボタンを押して調整する項目に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

## 5 選択＋／－ボタンを押して調整し、決定ボタンを押す。

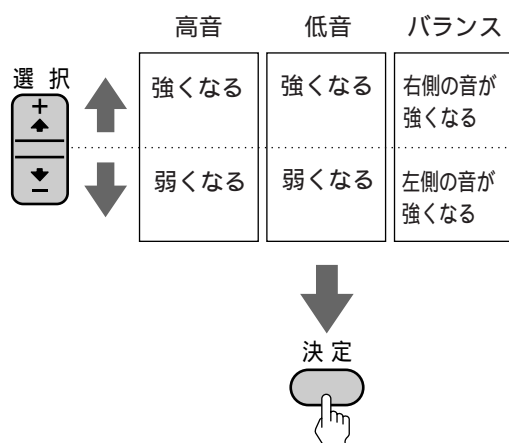
| 選択 | ピクチャー | 色あい | 色の濃さ | 明るさ | シャープネス |
|---|---|---|---|---|---|
| ＋ | 明暗の差が、強くなる | 緑がかる | 濃くなる | 明るくなる | くっきりした画像になる |
| － | 明暗の差が、弱くなる | 赤みがかる | 淡くなる | 暗くなる | 柔らかな画像になる |

## 6 手順4と5を繰り返して、他の項目を調整する。

## 7 メニューボタンを押してメニューを消す。

**画質／音質を標準（お買い上げ時）の状態にするには**
それぞれの調整項目の一番下にある「標準」を選びます。

## お好みの音質に調整する（AVメモリー）

画質と同様、音質もお好みに合わせて調整し、AVメモリーに記憶させることができます。11ページの手順3で「音質調整」を選ぶと、下記の項目が調整できます。

| 選択 | 高音 | 低音 | バランス |
|---|---|---|---|
| + | 強くなる | 強くなる | 右側の音が強くなる |
| − | 弱くなる | 弱くなる | 左側の音が強くなる |

# 衛星放送を録画する

テレビのBSチューナーを使って、衛星放送をビデオに録画することができます。この場合、必ず「衛星放送を録画するための接続」☞33ページを行ってください。

## 見ながら録画する

**1** **録画したい番組をテレビに映す。**

**2** **ビデオデッキを操作する。**

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（またはライン入力）にし、録画を始めてください。

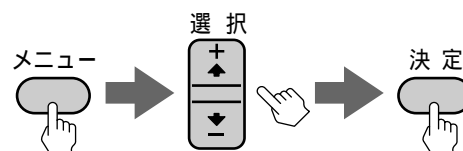
## 予約録画する

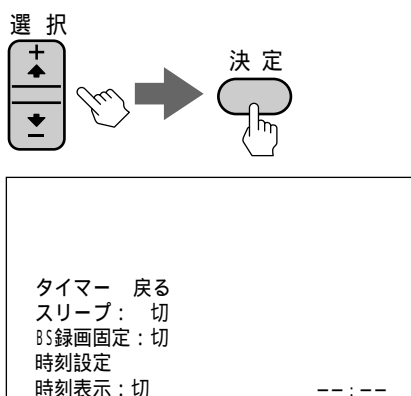
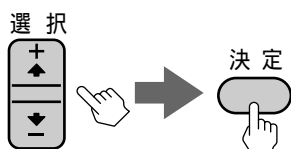
48時間以内の番組を予約録画することができます。

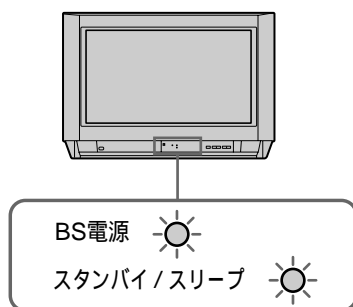
**1** **録画したいチャンネルをテレビに映す。**

**2** **ビデオデッキで録画を予約する。**

ビデオデッキの入力切り換えを外部入力（ライン入力）にしてください。

**3** **メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／－ボタンを押して、▶を「タイマー」の位置に動かし、決定ボタンを押す。**

## 4 選択+／−ボタンを押して、▶を「BS録画固定」の位置に動かし、決定ボタンを押す。

タイマー　戻る
スリープ：　切
BS録画固定：切
時刻設定
時刻表示：切　　−−：−−

## 5 選択+／−ボタンを押して、「BS録画固定」を「入」にし、決定ボタンを押す。

## 6 メニューボタンを押してメニューを消す。

## 7 リモコンで電源を切る。

BS電源ランプが点灯したままになります。

スクランブルのかかった放送を録画するときは、デコーダーの電源を入れたままにしてください。

BSチューナー部のチャンネルと音声が固定されて、ほかのBSのチャンネルに切り換わらなくなります。BS録画固定をしたあとは、リモコンでテレビを消しても、BSチューナー部は、BS録画固定をしてから48時間電源が入った状態になります。

BSのほかのチャンネルを見るにはBS録画固定を解除してください。

**ご注意**

- テレビ本体の電源ボタンでテレビを消すと録画できなくなります。
- BS録画固定をすると、BSのチャンネルは固定されます。
- 「BS録画固定」を「入」に設定してから、約48時間後にBS電源は自動的に切れます。

### BS録画固定を解除するには

もう一度、リモコンで電源を入れた後、メニューの「BS録画固定」を「切」にします。

### 裏番組を録画するには

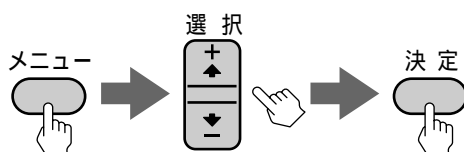
テレビ（VHF 、UHF、CATV）やビデオを見ながら、衛星放送を録画することができます。このとき、録画している番組を誤って切り換えないよう、前頁の「予約録画する」の手順3〜6に従って、「BS録画固定」を「入」にしてください。テレビのチャンネルを切り換えても衛星放送のチャンネルは固定されたままになります。

**独立音声を録音するには**

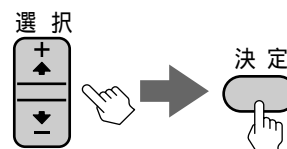
各種切換メニューから「TV／独立音声選択」を選んで「独立音声」にしてください。スクランブル放送のときは、デコーダー側で独立音声を選んでください。

# 音声を切り換える

二重音声放送のときには、主音声、副音声、主音声＋副音声のいずれかを選べます。

**1　メニューボタンを押してメニューを出し、選択＋／−ボタンを押して、▶を「各種切換」の位置に動かし、決定ボタンを押す。**

各種切換　戻る
▶二重音声　　　　主
画面表示　　　　切
ＴＶ／独立音声選択
Ｓ映像　　　　　切

**2　▶が「二重音声」の横にあることを確認し、決定ボタンを押す。**

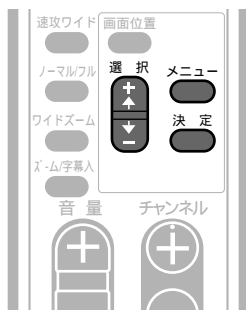
**3　選択＋／−ボタンを押し、「主」、「副」、「主／副」のいずれかを選び、決定ボタンを押す。**

**4　メニューボタンを押してメニューを消す。**

### VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときは

音声をモノラルにして雑音を軽減することができます。

1　本体の設定ボタンを押す。
2　選択＋／−ボタンを押して「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。
3　選択＋／−ボタンを押して「オートステレオ」を選び、決定ボタンを押す。
4　選択＋／−ボタンを押して「切」を選び、決定ボタンを押す。
5　設定ボタンを押す。

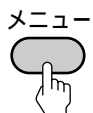
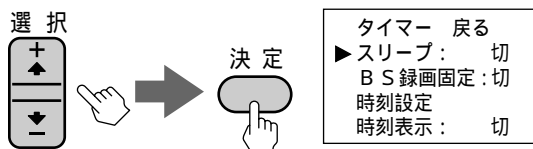
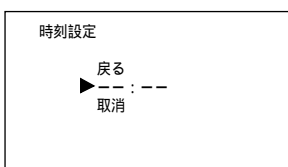
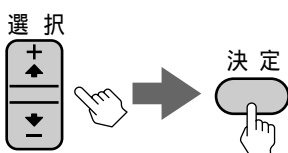
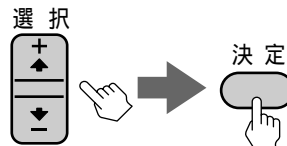
「オートステレオ」を「切」にすると、VHF/UHFすべてのチャンネルの音声がモノラルになります。ステレオでお聞きになるときは「オートステレオ」を「入」に戻してください。

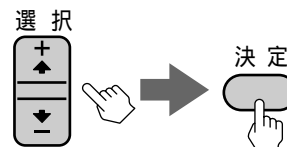
# 時計を使う

## 時計を表示する

昼の12時も夜の12時も0:00と表示されます。

**1** **メニューボタンを押す。**

**2** **選択+／ーボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。**

タイマー　戻る
▶スリープ：　　切
　ＢＳ録画固定：切
　時刻設定
　時刻表示：　　切

**3** **選択+／ーボタンを押して「時刻設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **▶がーー：ーーの横にあることを確認して、決定ボタンを押す。**

**5** **時間を設定する。**

時→分の順に設定します。選択+／ーボタンを押して数字を送り、決定ボタンを押して、時刻を設定します。

**6** **選択+／ーボタンを押して「時刻表示」を選び、「入」にして、決定ボタンを押す。**

時刻表示が出たままになります。

**7** **メニューボタンを押して、メニューを消す。**

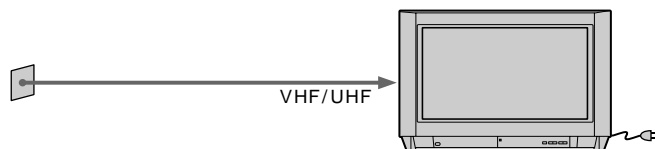
**タイマーで電源を切る**

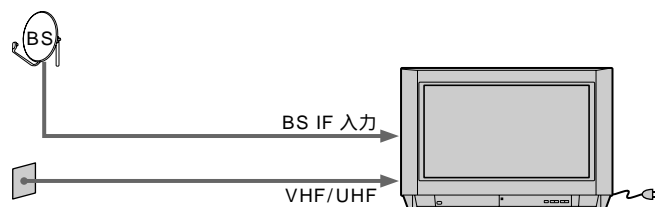
テレビをつけたままおやすみになっても、「スリープ」を「入」にしておけば約1時間後にテレビが消えます。

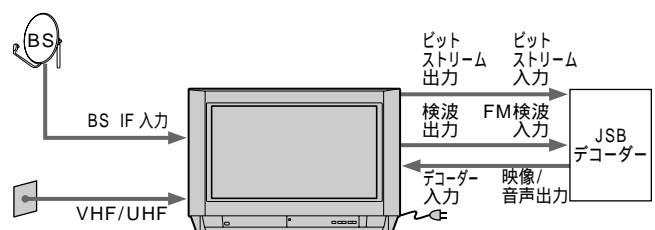
1 メニューボタンを押す。
2 選択+／ーボタンを押して「タイマー」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択+／ーボタンを押して「スリープ」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択+／ーボタンを押して「入」を選び、決定ボタンを押す。本体のスタンバイ／スリープランプが点灯します。
5 メニューボタンを押して、メニューを消す。

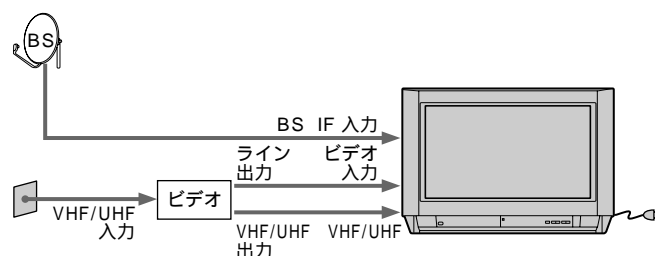
# 準備早わかり

受信する放送の種類や接続する機器によって準備のしかたが異なります。
下の例を参考に準備をしてください。

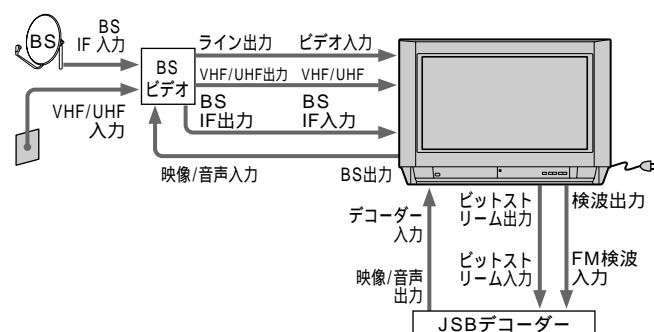
## テレビ

1 テレビアンテナをつなぐ☞20ページ
2 電源をつなぐ
3 テレビチャンネルを設定する☞22ページ

## テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2）

1 テレビアンテナをつなぐ☞20ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞26ページ
3 電源をつなぐ
4 テレビチャンネルを設定する☞22ページ
5 BS受信の設定をする☞27ページ

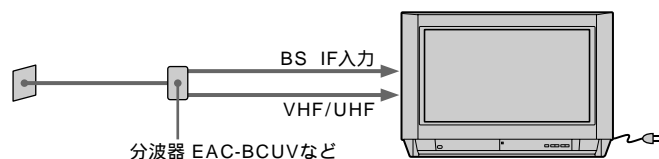
## テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）

1 テレビアンテナをつなぐ☞20ページ
2 BSアンテナをつなぐ☞26ページ
3 JSBデコーダーをつなぐ☞29ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞22ページ
6 BS受信の設定をする☞27ページ
7 BSデコーダーを設定する☞30ページ

## テレビ＋BS（NHK衛星第1、第2）＋ビデオ

1 テレビアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞20、32ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2 BSアンテナをテレビにつなぐ☞26ページ
3 ビデオデッキをテレビにつなぐ☞32ページ
4 電源をつなぐ
5 テレビチャンネルを設定する☞22ページ
6 BS受信の設定をする☞27ページ

衛星放送を録画する場合は、「衛星放送を録画するための接続」（☞33ページ）を行ってください。

## テレビ＋有料BS（WOWOW、St.GIGA）＋BSビデオ

1. テレビ／BSアンテナを、ビデオデッキを経由してテレビにつなぐ☞20、26、32ページおよびビデオデッキの取扱説明書
2. JSBデコーダーをテレビにつなぐ☞29ページ
3. ビデオデッキをテレビにつなぐ☞32ページ
4. 電源をつなぐ
5. テレビチャンネルを設定する☞22ページ
6. BS受信の設定をする☞27ページ
7. BSデコーダーを設定する☞30ページ

## マンションなどの共同受信システムの場合

マンションなどでは、部屋のアンテナ端子ひとつでテレビ、BSを受信できる場合があります。

1. 分波器を使ってテレビ／BSアンテナをつなぐ
2. 電源をつなぐ
3. テレビチャンネルを設定する☞22ページ
4. BS受信の設定をする☞27ページ

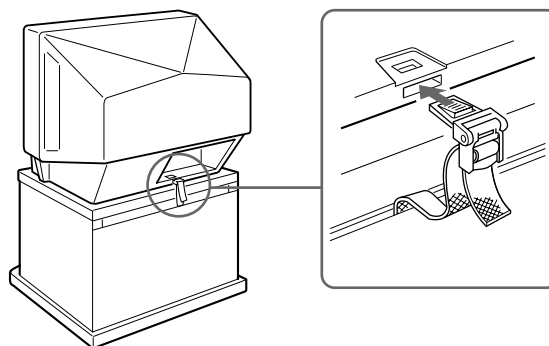
## ケーブルテレビの場合

ケーブルシステムによって準備のしかたが異なりますので、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

## テレビの転倒を防ぐために

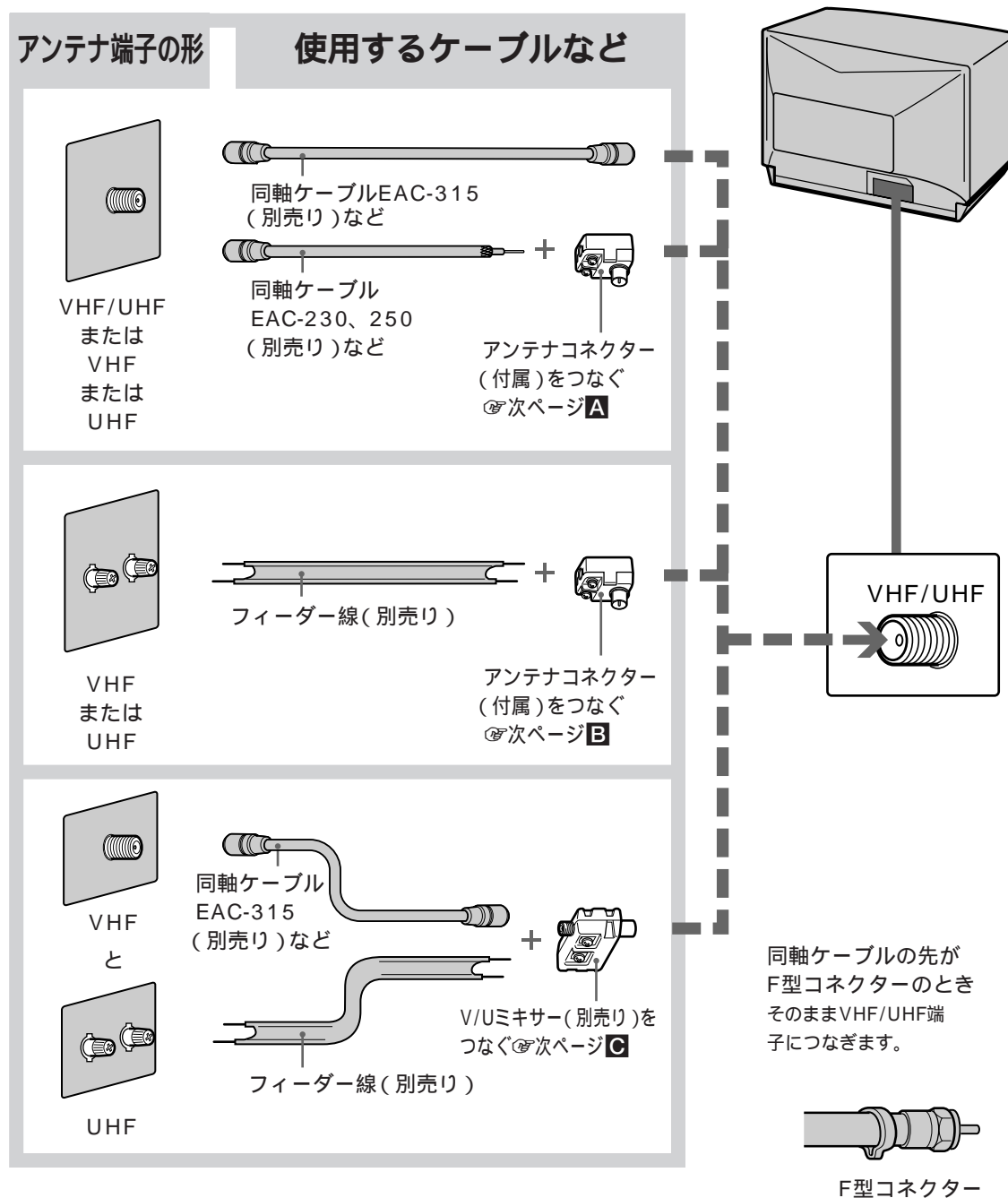
お子様がテレビに登ったり、押したりすると、テレビが倒れる恐れがあります。下記の別売り品を使用してテレビの転倒を防いでください。

- テレビラック固定ベルト　　BLT-R10
- テレビラック固定ベルト付属のテレビスタンド SU-28S1、SU-28V

準備編

# テレビアンテナをつなぐ

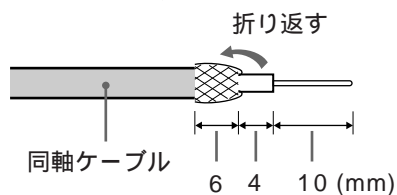
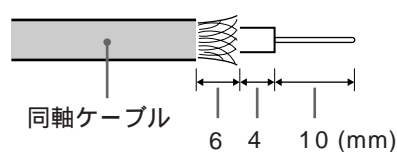
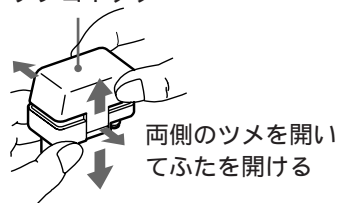
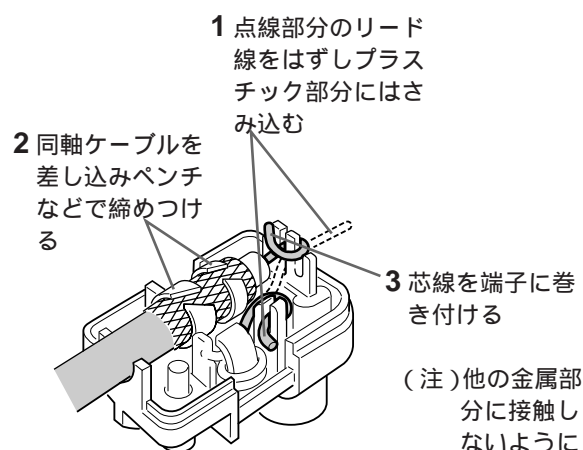
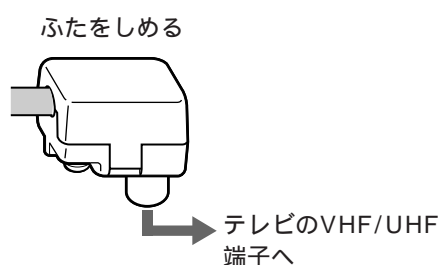
アンテナのつなぎかたは、部屋のアンテナ端子の形や使用するケーブルによって異なります。
下の例から最も近いものを選び、接続してください。
なお、いずれにも当てはまらない場合は、販売店などにご相談ください。

**同軸ケーブルの先がF型コネクターのとき**
そのままVHF/UHF端子につなぎます。

F型コネクター

## A 同軸ケーブルにアンテナコネクターをつなぐ

**1** **3C-2Vの場合**

**5C-2Vの場合**

**2**

**3**

**4**

## B フィーダー線にアンテナコネクターをつなぐ

**1**

芯線をよじる

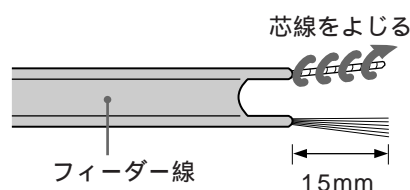
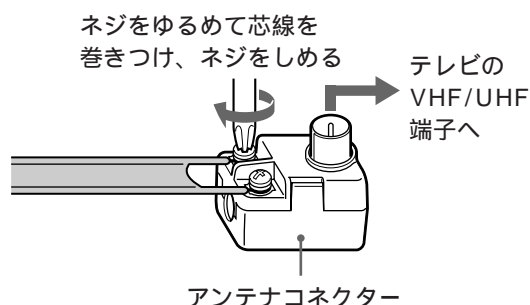
フィーダー線

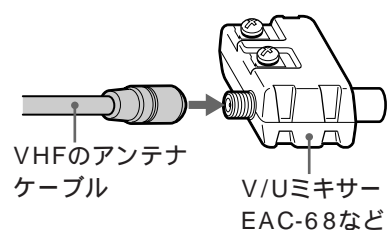
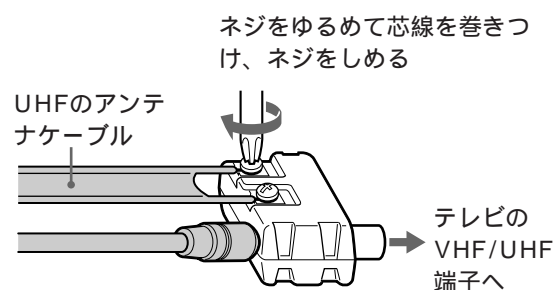
15mm

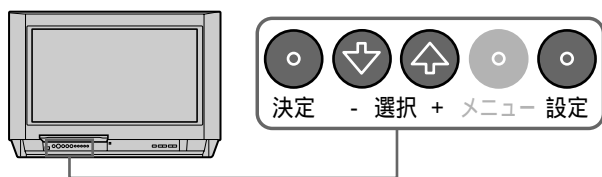
**2**

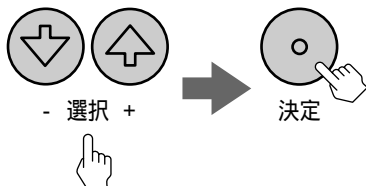
ネジをゆるめて芯線を巻きつけ、ネジをしめる

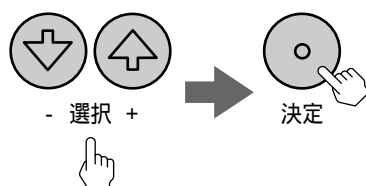
テレビのVHF/UHF端子へ

アンテナコネクター

## C V/Uミキサーをつなぐ

**1**

**2**

# チャンネルを自動設定する

現在ご覧になれるVHF/UHFの放送を、①から⑫のチャンネルボタンに自動的に割り当てます。衛星放送は⑬から⑮のボタンにあらかじめ割り当ててありますので設定しなくてもご覧になれます。

## 1 設定ボタンを押す。

## 2 選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

テレビ設定　戻る
▶自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　UHF
選局：　ダイレクト

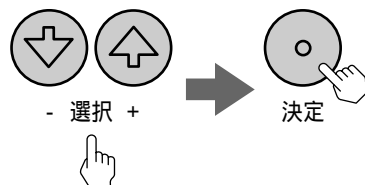
## 3 「自動CH設定」を選び、「入」になっていることを確認して決定ボタンを2回押す。

自動的に設定が始まります。

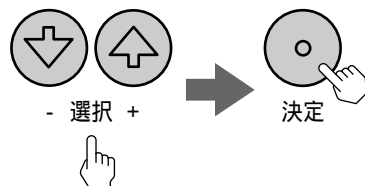
設定が終わると、下の画面に変わります。

## 4 設定されたチャンネルを確認し、必要があれば変更する。

5より大きい番号を確認するには、▶を画面の下まで動かします。

### 変更するには

1 変更したい数字（リモコンの数字ボタン）に▶を合わせ、決定ボタンを押す。

設定されたチャンネルが映ります。

2 選択＋／－ボタンを押して設定されたチャンネルを変更し、決定ボタンを押す。

3 手順**1**と**2**をくり返して、他のチャンネルを変更する。

## 5 設定ボタンを押してメニューを消す。

**チャンネル設定を中断するには**
「自動チャンネル設定実行中です」のメッセージが出ている間にメニューボタンを押す。

**UHFのチャンネル番号について**
地域によっては、実際のチャンネル番号で呼ばれず、通称のチャンネル番号で呼ばれていることがあります。新聞のテレビ欄などでお確かめください。

## 設定されたチャンネルを変更するには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
4 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、チャンネルを変更する。
5 設定ボタンを押して、メニューを消す。

## ケーブルテレビを見るには

ケーブルテレビはサービスの行われている地域のみで見ることができ、ケーブルテレビ放送会社との契約手続きが必要です。詳しくはケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。
1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「バンド」を選び、決定ボタンを押す。
4 選択＋／ーボタンを押して「CATV」を選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。
6 「チャンネルを自動設定する」の手順4に従って、ケーブルテレビのチャンネルを設定する。
7 設定ボタンを押して、メニューを消す。

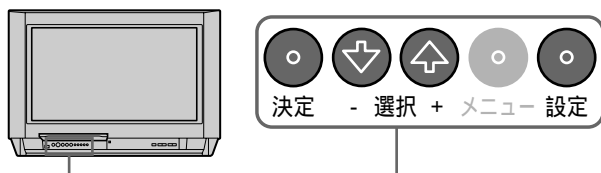
## チャンネル表示を書き換えるには

1 設定ボタンを押す。
2 選択＋／ーボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。
3 選択＋／ーボタンを押して「チャンネル表示書換」を選び、決定ボタンを押す。

4 表示を書き換えたいチャンネルを選び、決定ボタンを押す。
5 選択＋／ーボタンを押して、チャンネル表示を書き換え、決定ボタンを押す。
6 設定ボタンを押してメニューを消す。

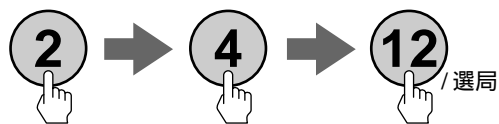
## 放送のないチャンネルをとばすには

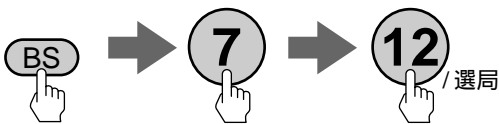
チャンネル＋／ーボタンを押したときに、放送のないチャンネルや見ないチャンネルをとばす（選局しない）ように設定することができます。
1 「チャンネルを自動設定する」の手順4の1で、放送のないチャンネルや見ないチャンネルを選ぶ。
2 選択＋／ーボタンを押して、「CH」を「0」にする。
3 設定ボタンを押してメニューを消す。

準備編

# 10キー選局にする

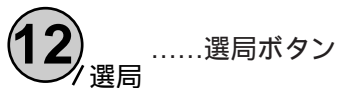
## 10キー選局とは

数字ボタンを押すと、通常は対応するチャンネルが映ります（「ダイレクト選局」）が、この方法で見られるチャンネルの数は15までです。見たいチャンネルの数が15を越えるときは「10キー選局」に切り換えてください。「10キー選局」にすると、リモコンの数字ボタンを組み合わせてお好きなチャンネルを選ぶことができます。

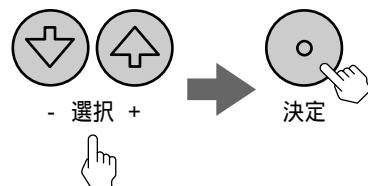
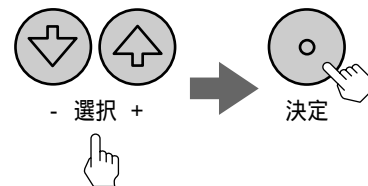
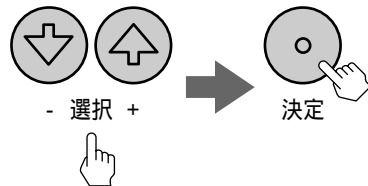
**例）24チャンネル**

**10チャンネル**

**BS7チャンネル**

数字ボタンの10と12は以下の働きになります。

……0を入力する

……選局ボタン

## 10キー選局に切り換える

**1** **設定ボタンを押す。**

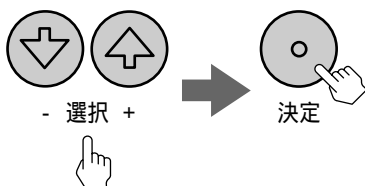
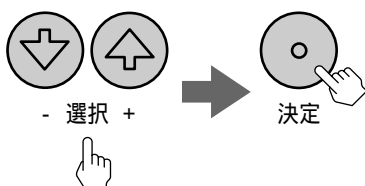
**2** **選択＋／−ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**3** **選択＋／−ボタンを押して「選局」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **選択＋／−ボタンを押して「10キー」を選び、決定ボタンを押す。**

テレビ設定　戻る
自動ＣＨ設定：　入
チャンネル設定変更
チャンネル表示書換
バンド：　　UHF
▶選局：　　10キー

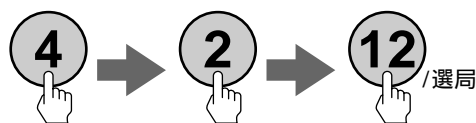
**5** **設定ボタンを押してメニューを消す。**

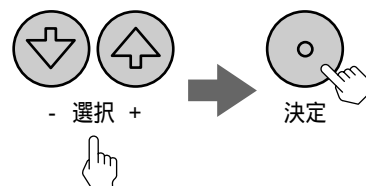
## チャンネル＋／－ボタンで選べる局を設定する

お買い上げ時はチャンネル＋／－ボタンで、1〜12チャンネルとBS5、BS7、BS11チャンネルを選ぶことができます。
これ以外のチャンネルを選ぶときや、放送のないチャンネルをとばしたいときは、次のように設定してください。

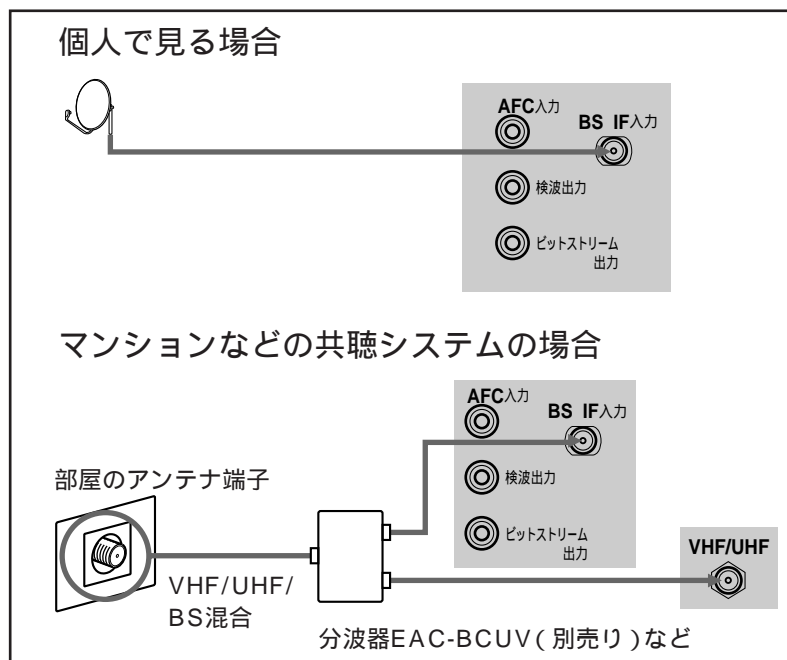
**1** 設定ボタンを押す。

**2** 選択＋／－ボタンを押して「テレビ設定」を選び、決定ボタンを押す。

**3** 選択＋／－ボタンを押して「チャンネル設定変更」を選び、決定ボタンを押す。

**4** 見たいチャンネルまたはとばしたいチャンネルを選ぶ。

例）42チャンネルなら

例）BS7チャンネルなら

**5** 選択＋／－ボタンを押して、見たいチャンネルのときは「ストップ」を、とばしたいチャンネルのときは「スキップ」を選び、決定ボタンを押す。

**6** 複数のチャンネルを設定する場合は、手順4と5を繰り返す。

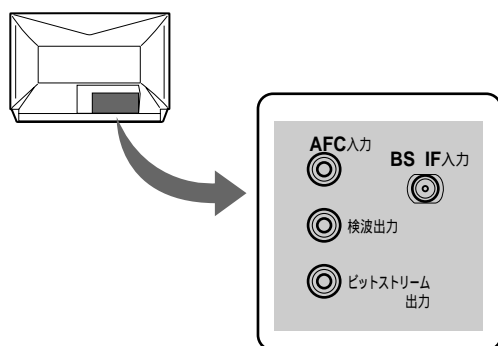
**7** 設定ボタンを押してメニューを消す。

準備編

# BSアンテナをつなぐ

**BS受信用の別売り商品**

- BSアンテナ
  SAN-37J2
  SAN-37K2SET
  SAN-50HD2
- アンテナ取り付け金具
  ANJ-K1（壁面タイプ）
  ANJ-B1（ベランダタイプ）
- BS分配器
  EAC-BC2
  EAC-BC4
- BS/UV混合分波器
  EAC-BCUV
- BS用ブースター
  BO-BC20
- 同軸ケーブル
  SAK-C10（10m）
  SAK-C20（20m）
  SAK-C30（30m）

**アンテナ接続後は、「BS受信の設定をする」を行ってください。**☞27ページ。

**●アンテナをつなぐ端子はテレビ裏面にあります**

**アンテナケーブルをつなぐときのご注意**

- ケーブル、アンテナコネクターは、BS専用のものをお使いください。VHF/UHFのアンテナコネクターは、BS用には使わないでください。
- 工具を使わずに、手でしっかりと締めてください。工具を使うと、端子をいためることがあります。
- BS IF入力端子はDC15Vの電源をBSアンテナ（コンバーター）に供給します。VHF、UHFのアンテナは絶対につながないでください。

**サテライト分配器についてのご注意**

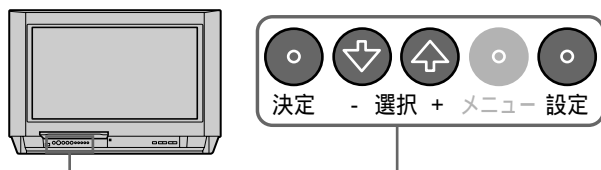
サテライト分配器をお使いになるときは、必ず、どの端子からもコンバーターに電源を供給するタイプ（EAC-BC2またはEAC-BC4など）をお使いください。サテライト分配器には、特定の端子からのみコンバーターに電源を供給するタイプもありますが、このタイプを使用した場合、BSチューナー内蔵ビデオデッキでも、テレビの電源を入れないと衛星放送を録画できないなどの不都合が生じることがあります。

**テレビ画面に「コンバーター電源を確認してください」という表示が出ているときは**

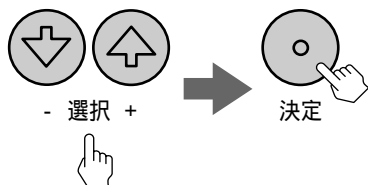
BSアンテナからのアンテナ線がショートしています。すぐにテレビ本体の電源を切り、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

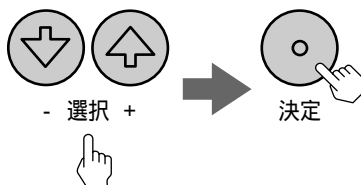
# BS受信の設定をする

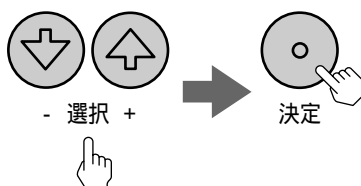
BSアンテナをつないだときは、必要に応じて「BS設定」をしてください。

## BS電源を設定する

**1** **BSのチャンネルにする。**

**2** **設定ボタンを押す。**

**3** **選択＋／－ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

BSのときのみ選択できます。

**4** **選択＋／－ボタンを押して「BS電源」を選び、決定ボタンを押す。**

ＢＳ設定　　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ＢＳ電源：オート

**5** **選択＋／－ボタンを押してアンテナのつなぎかたに合わせた設定に切り換え、決定ボタンを押す。**

ＢＳ設定　　戻る
アンテナレベル
デコーダー入力切換
▶ＢＳ電源：連動

| 項　目 | 選択＋／－ボタンを押すごとに選べる内容 | |
|---|---|---|
| BS電源 | 切 | BSコンバーターへの電源は供給されない。 |
| | 連動 | テレビがついているとき、BSコンバーターへ電源を供給する。 |
| | ●オート | BSコンバーターへの電源供給を、テレビが自動的に判断して行う。 |

（●は、お買い上げ時の設定を示します。）

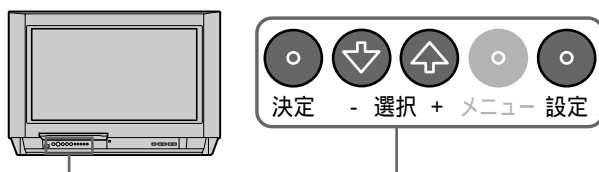
**6** **設定ボタンを押してメニューを消す。**

準備編

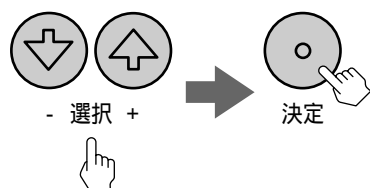
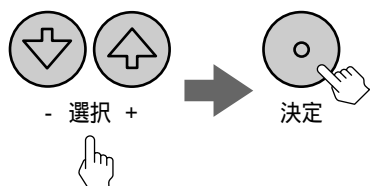
つづく

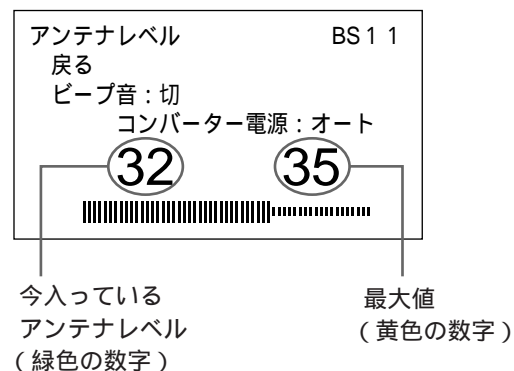
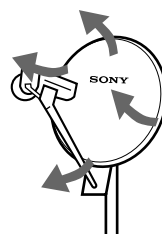
# BS受信の設定をする（つづき）

## アンテナの角度を調整する

BSアンテナに直接つないだときは、アンテナの方向と角度を調整する必要があります。
最良の調整ができるように、 テレビの画面上の数字や音で確かめられるようになっています。

**1** **放送のあるBSのチャンネルを選ぶ。**

**2** **設定ボタンを押す。**

**3** **選択＋／−ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **選択＋／−ボタンを押して「アンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す。**

**5** **アンテナを調整する。**

アンテナレベルの数値が最大になるように、アンテナの方向・角度を調整します。

コンバーター電源が「切」になっているときは、「BS電源」を「オート」または「連動」に設定してください☞27ページ。

**6** **調整が終わったら、設定ボタンを押してメニューを消す。**

### 音を聞いて調整するには

テレビ画面で確認できないときに便利です。

**1** 手順4のあと「ビープ音」を選び、「入」にして、決定ボタンを押す。

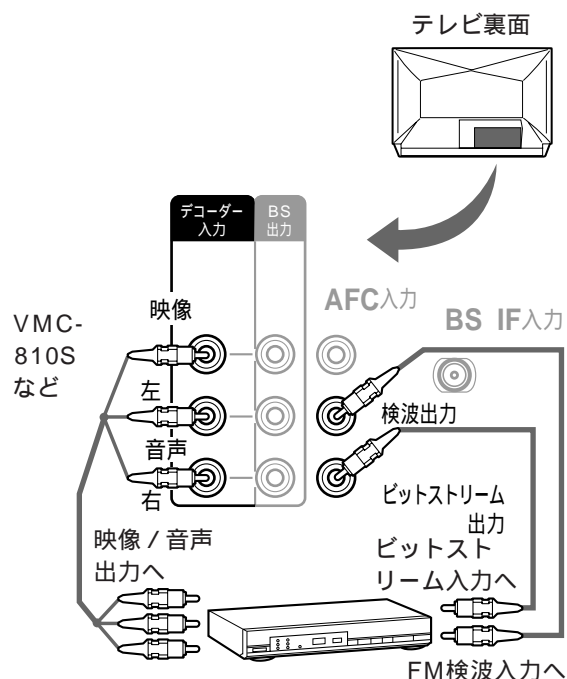
**2** 手順5で連続した最高音になるようアンテナを調整する。
緑色の数値が大きいほど、高音になります。

**ご注意**

ハイビジョン放送のときは、アンテナレベルは正しく動作しません。

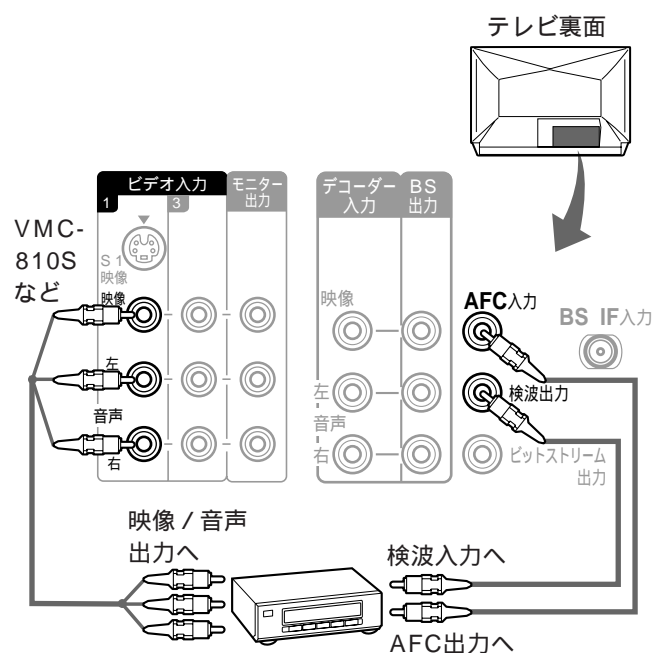
# BSデコーダーをつなぐ

有料の衛星放送を見るためには、デコーダーをつなぐ必要があります。詳しくはBSの放送会社にお問い合わせください。
お買い上げ時は、スクランブルのかかった放送を受信すると、接続したBSデコーダーを通してスクランブルを解除するように設定されています。

## JSBデコーダ（WOWOW/St.GIGA）

**デコーダーのスイッチの設定**
BSデコーダーの「検波／映像」切り換えスイッチを「検波」にしてください。

**独立音声放送用デコーダーを接続する場合**
デコーダー入力の音声端子のみ接続してください。

**ご注意**
BSデコーダーは必ず、デコーダー入力端子に接続してください。デコーダー入力端子に接続しないと、デコーダー入力へ自動的に切り換わりません。

## MUSE-NTSCコンバーター（ハイビジョン）

ハイビジョン放送を見るときはハイビジョンのチャンネルにしてから「ビデオ1」または「ビデオ2」、「ビデオ3」に切り換えてください☞30ページ。

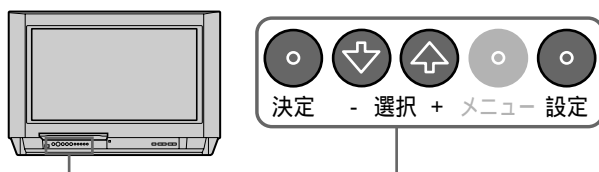
### デコーダー入力端子が空いている場合

ビデオ入力ではなくデコーダー入力端子に接続し、メニューの「デコーダー入力切換」で「BS9」の設定を「デコーダー」にしておけば、BS9チャンネルを選ぶだけで見ることができます。この場合、スクランブルのかかった放送（1996年1月現在、BS5チャンネル）は「デコーダー入力切換」を「テレビ」にしてください☞30ページ。

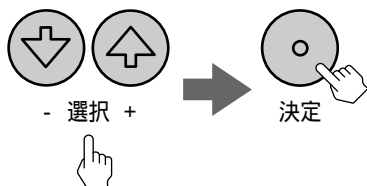
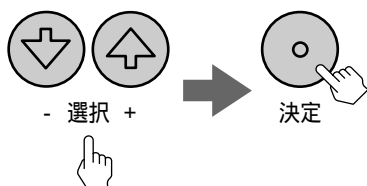
準備編

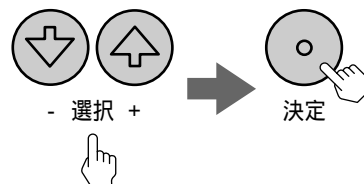
# BSデコーダーをつなぐ（つづき）

## デコーダーを設定する

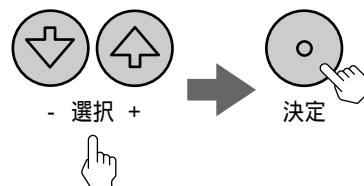
MUSE-NTSCコンバーターを接続した場合は、チャンネルごとに使用するデコーダー入力切換を設定してください。
BS（ハイビジョン放送以外）のチャンネルは、お買い上げ時の設定（オート）のままにしてください。

**1** **BSのチャンネルにする。**

**2** **設定ボタンを押す。**

**3** **選択＋／−ボタンを押して「BS設定」を選び、決定ボタンを押す。**

**4** **「デコーダー入力切換」を選び、決定ボタンを押す**

**5** **ハイビジョン放送のチャンネルを選び、決定ボタンを押す。**

BS9〜15を設定したいときは、▶をBS7より下に移します。

デコーダー入力切換

戻る
▶BS　9：オート
BS 11：オート
BS 13：オート
BS 15：オート

**6** **「テレビ」、「デコーダー」、「オート」の設定の中から「デコーダー」を選び、決定ボタンを押す。**

| 設定 | 内容 |
| --- | --- |
| オート | BSのスクランブルを自動判別 |
| テレビ | 受信した映像・音声をそのまま映す |
| デコーダー | デコーダー入力端子からの映像・音声を映す |

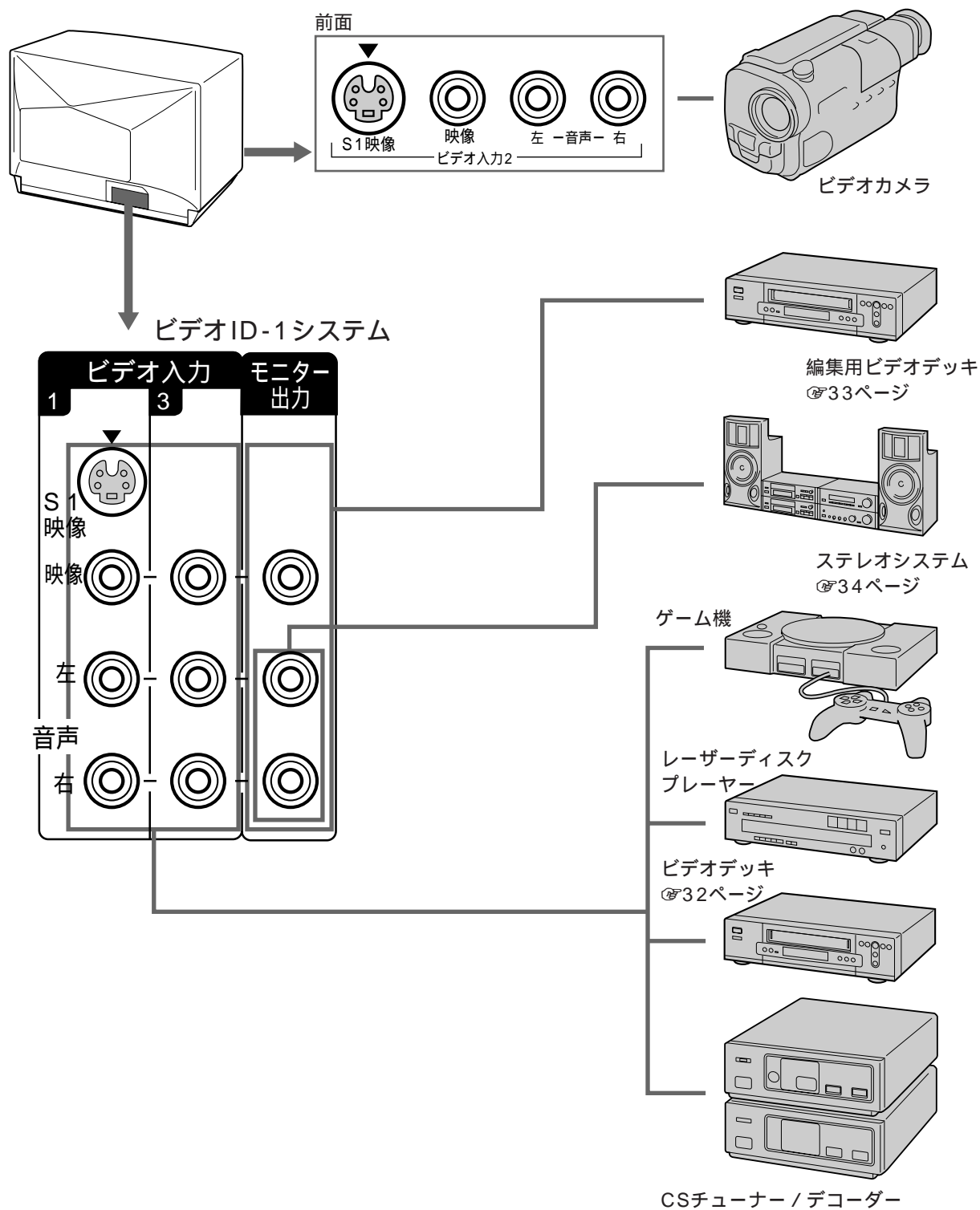
**7** **手順5〜6を繰り返して、入力を変えたいチャンネルを1つずつ設定する。**

**8** **設定ボタンを押して、メニューを消す。**

ハイビジョン放送のチャンネルを「デコーダー」に設定した場合、スクランブルのかかったほかのチャンネルは映らなくなります。その場合、そのチャンネルのデコーダー入力を「テレビ」に設定すると、スクランブルされている映像を見ることができます。

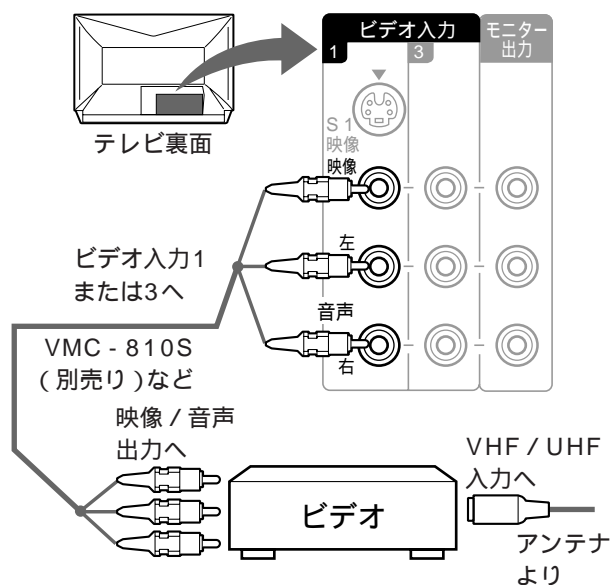
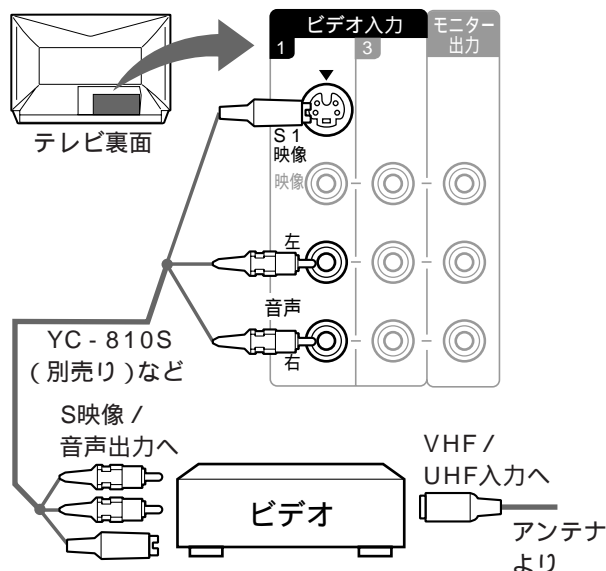
# 他の機器との接続例

テレビ前面・裏面の端子を使って、いろいろな機器をつなぐことができます。

準備編

# ビデオデッキをつなぐ

ビデオデッキの使用目的によって接続のしかたが異なります。目的に合ったつなぎかたを選んでください。アンテナのつなぎかたは、「準備早わかり」(☞18ページ）およびビデオデッキの取扱説明書などをご覧ください。

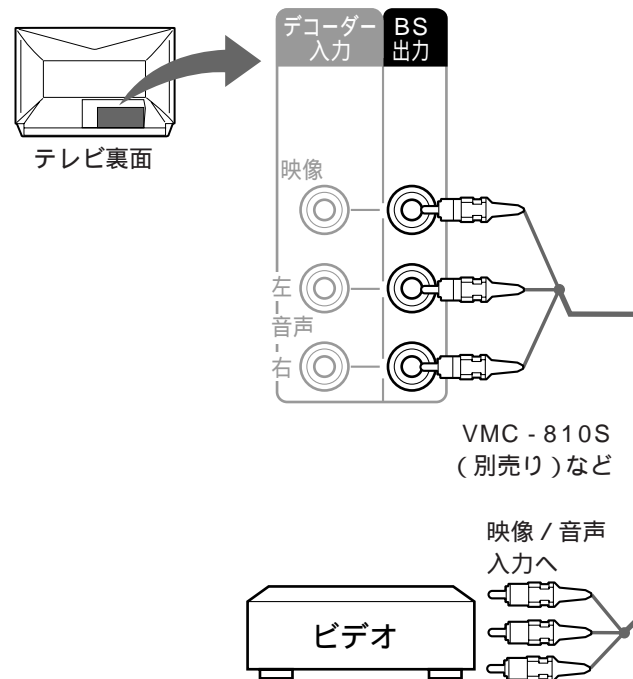
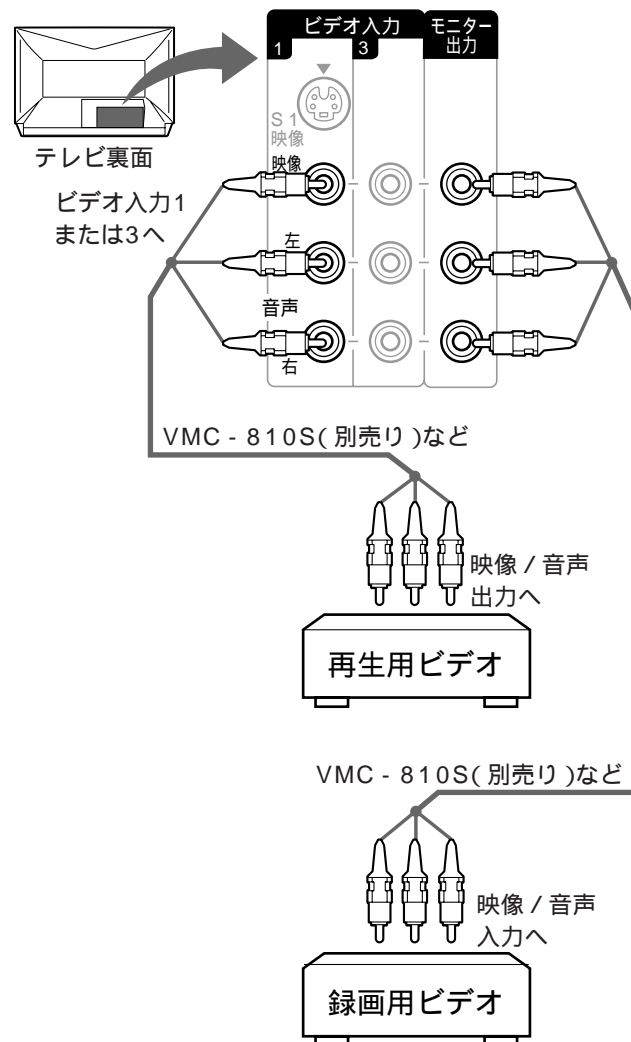
## 基本の接続

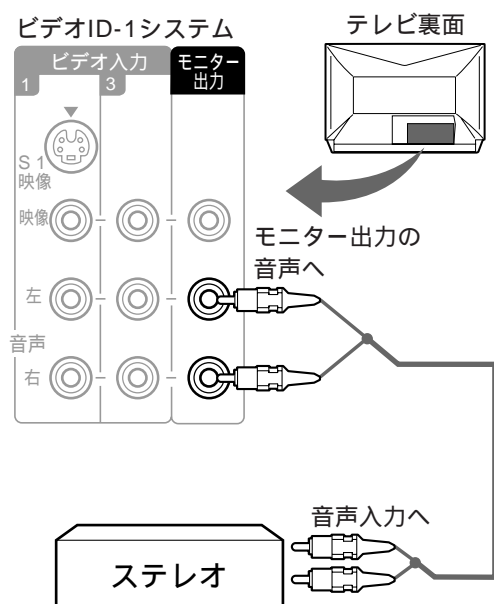
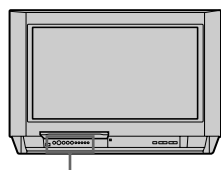
### S映像端子のないビデオデッキ

### S映像端子付きビデオデッキ

### S1映像／映像の切り換え

S1映像端子と映像端子を同時に接続すると、S1映像端子につないだ機器の画像が優先されて映ります。映像端子につないだ機器の画像を見るときは、下の手順に従って「S映像」を「切」にしてください。

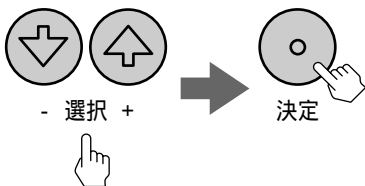
1 入力切換ボタンを押して設定したいビデオ入力を選ぶ。
2 メニューボタンを押してメニューを出し、「各種切換」を選び決定ボタンを押す。
3 「S映像」を選んで「切」にし、決定ボタンを押す。
4 メニューボタンを押して、メニューを消す。

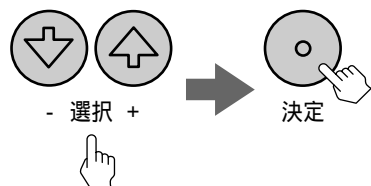
## 衛星放送を録画するための接続

テレビのチューナーを使ってBSを録画する場合は、以下のようにつないでください。

## 編集するときの接続

# ステレオシステムをつなぐ

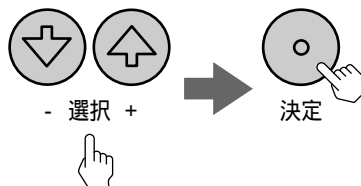
オーディオ機器をモニター出力の音声端子に接続することができます。
このとき、テレビ側の音量は最小にし、オーディオ機器側で音量や音質を調整することをおすすめいたします。

# 地磁気による画像の傾きを補正する

設置後、テレビの向きを決めたら、つぎの方法で方角補正をしてください。地磁気の影響がなくなり、よりよい画面をお楽しみいただけます。

**1　設定ボタンを押す。**

**2　選択＋／−ボタンを押して、「初期設定」を選び、決定ボタンを押す。**

設定　終了
テレビ設定
ＢＳ設定
▶ 初期設定

**3　選択＋／−ボタンを押して、「方角補正」を選び、決定ボタンを押す。**

初期設定　戻る
オートステレオ：入
▶ 方角補正：−３〜＋３

**4　選択＋／−ボタンを押して調整する。**

画像を見ながら画面内の水平線がいちばん水平になるように調整します。
数値は−３〜＋３の範囲で変わります。

初期設定　戻る
オートステレオ：入
▶ 方角補正：−３〜＋３

**5　設定ボタンを押して、メニューを消す。**

高圧線の近くや鉄筋コンクリート造りの家などでは、うまく補正されないことがありますので、お買い上げ店にご相談ください。

テレビの近くに大きなスピーカーがあると、うまく補正されません。スピーカーから離して設置してください。

# 故障かな？と思ったら

| | |
|---|---|
| **テレビが映らない** | ■電源コードがはずれていませんか？<br>■テレビ本体の電源は入っていますか？ |
| **画像は出るが、音が出ない** | ■音量が下がりきっていませんか？<br>■画面に「消音」の表示が出ていませんか？リモコンの消音ボタンを押して「消音」の表示を消してください。 |
| **色がつかない<br>色がおかしい<br>画面が暗い** | ■メニューで画質／音質モードを選んでください。（☞10ページ）<br>■メニューで画質を調整してください。（☞11ページ） |
| **画像が二重、三重になる** | ■アンテナ線がはずれかかっていませんか？山やビルで反射した電波がアンテナに飛び込み、画像が二重、三重になることがあります。<br>■アンテナの位置、方向、角度を調整してください。<br>■突然画像が二重、三重になった場合は、お買い上げ店などにご相談ください。 |
| **雪が降るような画面、うすい画面、風がふくとちらつく** | ■アンテナが風でこわれたり曲がったりしていませんか？<br>■アンテナの寿命ではありませんか？通常3〜5年、海辺では1〜2年です。<br>■アンテナ線がはずれていませんか？ |
| **斑点や点模様が走る** | ■ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波が原因です。アンテナはなるべく道路から離してください。 |
| **画像が傾く** | ■メニューの「初期設定」で「方角補正」を選び調整してください。（☞35ページ） |
| **特定のチャンネルだけが映らない** | ■チャンネルを合わせ直してみてください。（☞22ページ） |
| **雑音が多い** | ■フィーダー線を使用していませんか？<br>■「初期設定」で「オートステレオ」を「切」にしてください。（☞16ページ） |
| **リモコンの数字ボタンを押してもチャンネルが選べない** | **ダイレクト選局の場合**<br>■ダイレクト／10キー選局が「ダイレクト」になっていますか？（☞24ページ）<br>**10キー選局の場合（☞24ページ）**<br>■ダイレクト／10キー選局が「10キー」になっていますか？<br>■11チャンネルは①を2回、12チャンネルは①と②を続けて押しましたか？<br>■最後に続けて⑫／選局を押しましたか？（スタンバイ／スリープランプ点灯中にチャンネル数字ボタンを押したときはチャンネル数字ボタンに続けて⑫／選局ボタンを押さないと、前回テレビを消したときのチャンネルが映ります。）<br>**その他**<br>■リモコンの電池が消耗していませんか？ |
| **キャビネットから「ピシッ」というきしみ音が出る** | 周囲の温度変化でキャビネットが伸縮するときに「ピシッ」という音が出ることがあります。故障ではありません。 |
| **テレビの電源を切った直後に、テレビの後ろからパチパチ音がする** | テレビ内部で発生する静電気が原因です。故障ではありません。 |

| | |
|---|---|
| **BS（衛星放送）が映らない／乱れている** | **BSアンテナを直接つないでいる場合**<br>■「BS設定」で「BS電源」が「オート／連動」になっていますか？（☞27ページ）<br>■BSケーブルのコンバーター側は防水になっていますか？<br>■アンテナの大きさは適切ですか？<br>■アンテナの前方に障害物はありませんか？<br>■アンテナの方向・角度を調整しましたか？（☞28ページ）<br><br>**BSアンテナに分配器を使っている場合**<br>■コンバーター用電源を供給する機器のスイッチが「入」側になっていますか？<br><br>**マンションなどの共聴システムの場合**<br>■「BS設定」で「BS電源」が「オート／切」になっていますか？（☞27ページ）<br>■VHF/UHFとBSが一本のケーブルになっている場合、分波器を使っていますか？（☞26ページ）<br>■ケーブルの芯線は、コネクターに正しく入っていますか？<br><br>**その他**<br>■放送時間を確認してください。<br>■雨や雪が降ると悪くなることがあります。<br>■BS専用のケーブルを使っていますか？（☞26ページ）<br>■アンテナコネクター（バルーン）を使っていませんか？<br>■「BS設定」で「デコーダー入力切換」を切り換えていませんか？（☞30ページ） |
| **BS（衛星放送）の画像は出るが音が出ない** | ■スクランブル放送ではありませんか？ |
| **BS（衛星放送）のチャンネルが切り換わらない** | ■「BS録画固定」を「入」にしていませんか？（☞14ページ） |
| **ビデオを再生したとき画像が出ない** | ■S映像入力なのに、映像入力モードにしていませんか？（☞32ページ） |
| **つないだ機器の画像、音が出ない** | ■接続コードがはずれていませんか？<br>■リモコンの入力切換ボタンを押してみてください。 |
| **「コンバーター電源を確認してください」という文字がでたら** | テレビ裏面のBS IF入力がショートしています。電源を切って、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。 |
| **「ファイン」という文字がでたら** | サービス点検用の機能です。何の操作もしなければ約3秒で消えます。 |

# 保証書とアフターサービス

## 保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。ただし、ブラウン管代およびブラウン管の交換にともなう技術料、出張料は2年間無料です。

## アフターサービスについて

**調子が悪いときはまずチェックを**

➡「故障かな？と思ったら」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

**それでも具合が悪いときはサービス窓口へ**

➡ お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

**保証期間中の修理は**

➡ 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

**保証期間経過後の修理は**

➡ 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

**部品の保有期間について**

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後でも、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。
なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

**ご相談になるときは次のことをお知らせください。**

**型名：KV-28W10**
**故障の状態：できるだけくわしく**
**購入年月日：**

| お買い上げ店<br>TEL. |
|---|
| お近くのサービスステーション<br>TEL. |

This television is designed for use in Japan only and is not to be used in any other country.

# 主な仕様

**システム**
受信方式　NTSC方式
受信チャンネル　VHF 1〜12チャンネル
UHF 13〜62チャンネル
CATV C13〜C35
BS1、3、5、7、9、11、13、15
ブラウン管*　トリニトロン106度偏向28型
＊テレビの型は画面寸法を表すものではなく、ブラウン管の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
画面寸法　57.5×32.4、66cm
（幅×高さ、対角径）
使用スピーカー　8cm×2

**入出力端子**
アンテナ端子　VHF/UHF 75Ω F型コネクター
BS IF 75Ω F型コネクター
（コンバーター用電源出力、DC15V最大4W）
音声出力　実用最大：5W×2 (EIAJ)
ビデオ入力1、2、3端子
S1映像：4ピンミニDIN（ビデオ入力1、2のみ）
Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ
モニター出力端子
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス 5kΩ以下
ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス16Ω以上
BS出力端子　映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準出力レベル250mVrms (FS-18dB時)、出力インピーダンス 5kΩ以下
検波出力端子　ピンジャック、75Ω、0.67Vp-p
ビットストリーム出力端子
ピンジャック、75Ω、0.5Vp-p
デコーダー入力端子
映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声：ピンジャック、2チャンネル、標準入力250mVrms、インピーダンス47kΩ
AFC入力端子　ピンジャック、75Ω

**電源部・その他**
消費電力　136W（リモコン待機時0.8W）
年間消費電力量**
190kW·h/年
＊＊年間消費電力量とは：省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間（4.5時間）を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

最大外形寸法　75.4×51.5×52.6cm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約40.0Kg
電源　AC100V、50/60Hz
付属品　リモートコマンダー
RM-J193（1）
乾電池　単3型（2）
アンテナコネクター（1）
取扱説明書（1）
保証書（1）
ソニーご相談窓口のご案内（1）
安全のために（1）
安全点検のおすすめ（1）

**別売りアクセサリー**
ふしぎリモコン　RM-J152
テレビスタンド　SU-28S1
SU-28V
ビデオトレイ　SU-100TR
ステレオヘッドホン
MDR-AV55
MDR-IF410K
テレビラック固定ベルト
BLT-R10
BSアンテナなど
接続ケーブルなど

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

# 用語集

**ID-1方式（ビデオ ID-1システム）**
ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比（16：9、4：3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称です。本機はID-1方式に対応しています。

**アンテナレベル**
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナケーブルの長さなどによって影響を受けます。

**Aモード**
BSで送信される音声の種類のひとつ。音質はFM放送なみです。4チャンネルのうち2チャンネルを使って独立音声が放送されることがあります。
サンプリング周波数：32kHz
量子化：14/10ビット　準瞬時圧伸方式

**S-1方式（S1映像）**
S映像のC端子へ直流5Vを重畳することにより画面の縦横比（16：9または4：3）の情報を記録するシステムの名称です。本機はS-1方式に対応しています。

**検波**
衛星から送られてきた信号そのものを取り出すことです。検波信号を処理して、映像・音声に変換しています。

**シネマスコープサイズ**
映像ソフト画面の縦横比が1：2.35になっているものをこのように呼びます。ビスタサイズよりも横長になります。一般的には黒帯に字幕の入る映画などの画像サイズです。

**スクランブル**
映像、音声の信号を暗号化することです。民間衛星放送などでは、契約者以外には視聴できないように、電波にスクランブルをかけて（暗号化して）送信しています。スクランブルのかかった放送を視聴するためには、解読器（デコーダーなど）が必要です。

**チューナー**
電波を受け入れて各チャンネルに合わせるための機器です。
本機はテレビチューナーおよびBSチューナーを内蔵しています。

**デコーダー**
スクランブルのかかったBS放送などのスクランブルを解除して視聴するための解読器です。

**独立音声放送**
BSでは、ひとつのチャンネルでテレビ画面の音声とは別の、音声だけの放送が送られている場合があります。これが独立音声放送です。

**ハイビジョン実用化試験放送**
1996年1月現在、BS9チャンネルではMUSE方式ハイビジョン実用化試験局による放送が行われています。MUSE方式ハイビジョン放送を見るためには、MUSE-NTSCコンバーターが必要です。

**Bモード**
BSで送信される音声の種類のひとつ。CDなみの高音質が楽しめるので、音楽番組などで使われています。
サンプリング周波数：48kHz
量子化：16ビット　直線量子化

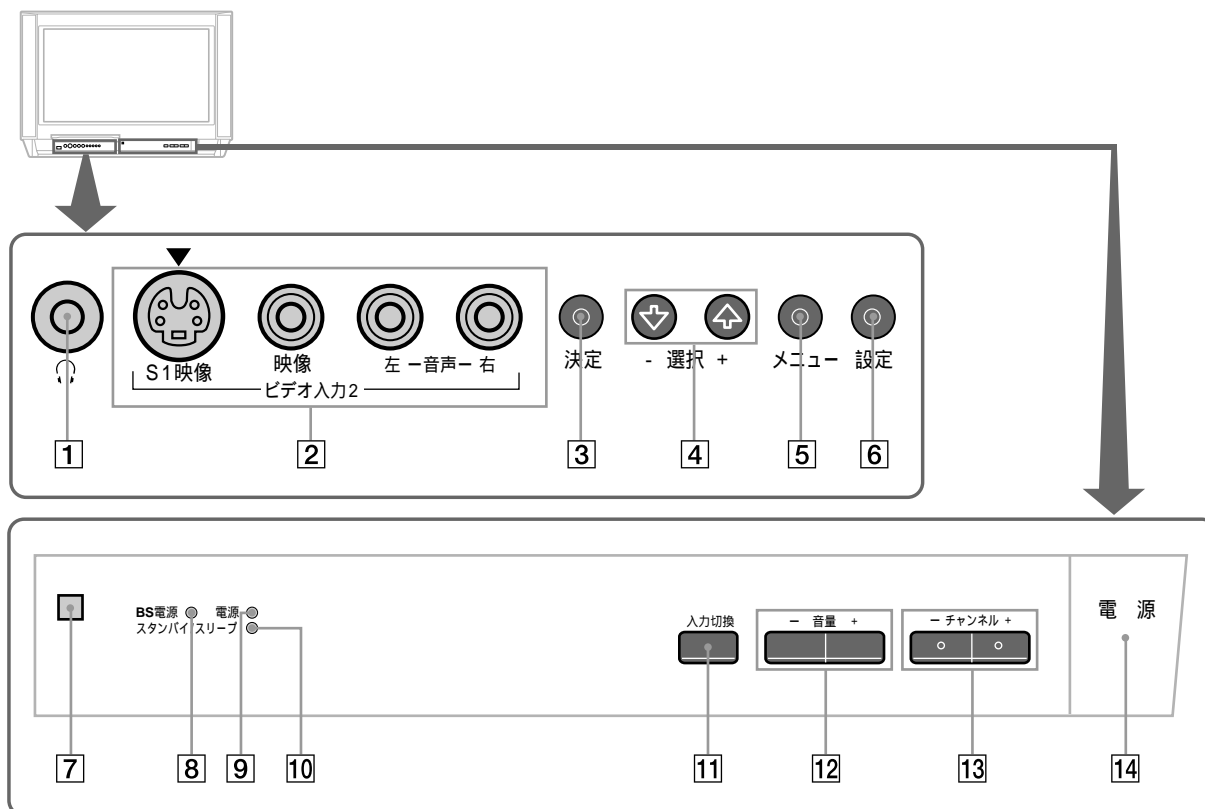
**ビスタサイズ**
映像ソフト画面の縦横比が1：1.85になっているものをこのように呼びます。一般的には画像の中に字幕が入っている映画などの画像サイズです。

**偏波**
衛星放送の電波の流れの型です。
BSは円偏波です。

**MUSE**
ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。27MHzのハイビジョンの信号を8MHzに圧縮して、衛星放送の1チャンネル分で送れるようにしています。

**MUSE-NTSCコンバーター**
MUSE方式のハイビジョン放送を現行放送方式（NTSC）に変換するための機器です。

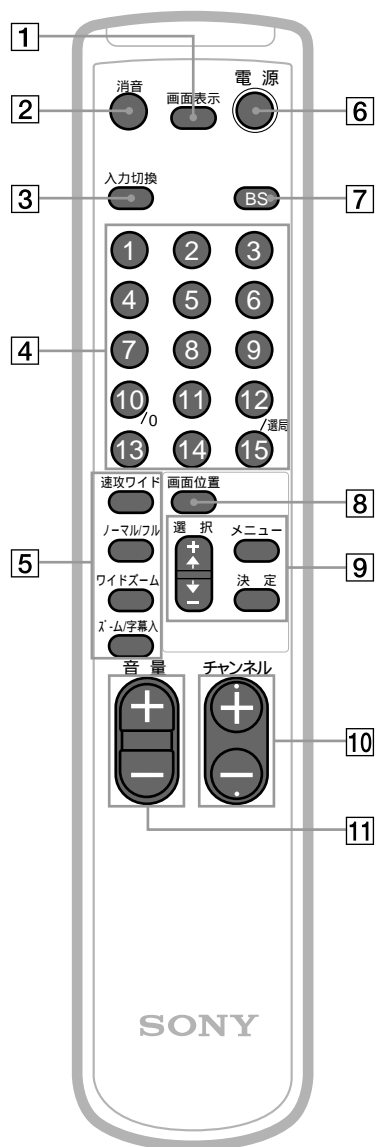
# 各部の名前／Identification of controls

## 本体前面/TV Front Panel

1 ヘッドホン端子
2 ビデオ入力2端子
  S1映像端子
  映像端子
  音声（左）端子
  音声（右）端子
3 決定ボタン
4 選択＋／ーボタン
5 メニューボタン
6 設定ボタン☞22ページ
7 リモコン受光部
8 BS電源ランプ☞15ページ
9 電源ランプ☞2ページ
10 スタンバイ／スリープランプ☞2ページ
11 入力切換ボタン☞3、8ページ
12 音量＋／ーボタン☞2ページ
13 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ
14 電源スイッチ☞2ページ

1 Headphones jack
2 VIDEO IN 2 jacks
  S1 -Video jack
  Video in jack
  Audio-L jack
  Audio-R jack
3 Enter button
4 Select +/ー buttons
5 Menu button
6 Preset button page 22
7 Remote control sensor
8 BS (Broadcast Satellite) Power indicator page 15
9 Power indicator page 2
10 Standby/Sleep indicator page 2
11 Input Select button page 3, 8
12 Volume +/ー buttons page 2
13 Channel +/ー buttons page 2
14 Power switch page 2

その他

# 各部の名前／Identification of controls (つづき)

## リモコン／Remote Commander

1 画面表示ボタン☞3ページ
2 消音ボタン☞3ページ
3 入力切換ボタン☞3、8ページ
4 チャンネル数字ボタン☞2, 9, 14, 24ページ
5 ワイド画面操作部☞5ページ
6 電源スイッチ☞2ページ
7 BSボタン☞9ページ
8 画面位置ボタン☞6ページ
9 メニューボタン☞7ページ
選択＋／ーボタン☞6ページ
決定ボタン☞7ページ
10 チャンネル＋／ーボタン☞2ページ
11 音量＋／ーボタン☞2ページ

1 Display button  page 3
2 Muting button  page 3
3 Input Select button  page 3, 8
4 Channel Number buttons  page 2, 9, 14, 24
5 Wide Mode Select buttons  page 5
6 Power switch  page 2
7 BS (Broadcast Satellite) button  page 9
8 Picture Position button  page 6
9 Menu button  page 7
Select +/– buttons  page 6
Enter button  page 7
10 Channel +/– buttons  page 2
11 Volume +/– buttons  page 2

# 索引

## あ行



## か行



## さ行



## た行



## な行



## は行



## ま行



## や行



## ら行



## わ行

## 万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 変なにおいや音がしたら
- 内部に異物が入ったら
- 音は出るが画面が映らないときは
- テレビを落としたり、キャビネットを破損したときは

➡

❶ 電源を切る

❷ 電源プラグをコンセントから抜く

❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する


ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)5448-3311●名古屋(052)232-2611●大阪(06)539-5111



Printed in Japan